別記
第１号様式（第６条関係）
（朱書して提出）

決　裁	伺い）下記のとおり認定してよろしいか。			受　付
	決裁権者	回　議	係	受　付 ○.○.○ ○高等学校

住　居　届

（平成○年○月○日 提出）

任命権者 ○○○○　殿	勤務課（所）名	○○○○					
	職名	○○	氏名	○○○○　印	職員番号	○○○○○○	

鹿児島県職員の住居手当支給規則第６条の規定により，居住の実情等を届け出ます。
（契約書等証明書類　　通添付）

届出の理由（該当する□に✓を付する。）
□１　新　規（□第１項第１号　□第１項第３号）　☑２　支給要件の喪失（☑第１項第１号　□第１項第３号）
☐３　転　居（１又は２に該当する場合を除く。）　□４　契約関係の変更
□５　家賃額の改定　　（届出の理由が生じた日）
□６　その他（　　）　平成○年○月○日

借家・借間 （鹿児島県職員の給与に関する条例第10条の5第1項第1号）	契約開始日	平成○年○月○日から	住宅への入居日	平成○年○月○日
	住宅の所在地	○○○○○		
	住宅所有者	○○○○　続柄（他人）	住　所	○○○○
	住宅の貸主	○○○○　続柄（他人）	住　所	○○○○
	住居の借主	☑ 本人 □ 扶養親族　続柄（　）	共同名義人が	☑ いない □ いる　続柄（　） （　）
	家　賃　等	月額　１３，０００　円 （平成○年○月○日から）	左記家賃額には	□電気，ガス又は水道の料金が含まれている。（光熱費込みの下宿代） □食費等が含まれている。（賄い付下宿代）
借家・借間 （鹿児島県職員の給与に関する条例第10条の5第1項第3号）	契約開始日	年　月　日から	住宅への入居日	年　月　日
	住宅の所在地			
	住宅所有者	続柄（　）	住　所	
	住宅の貸主	続柄（　）	住　所	
	住居の借主	□ 本人 □ 扶養親族　続柄（　）	共同名義人が	□ いない □ いる　続柄（　） （　）
	家　賃　等	月額　円 （　年　月　日から）	左記家賃額には	□電気，ガス又は水道の料金が含まれている。（光熱費込みの下宿代） □食費等が含まれている。（賄い付下宿代）
備　考				

記入上の注意
1　それぞれの欄の該当する□に✓印を付すること。
2　「届出の理由」欄中新規及び支給要件の喪失については，届出に係る住宅の種類に応じて，職員が居住する借家・借間にあつては第１項第１号，配偶者等（職員の配偶者又は１親等内の血族若しくは姻族である者をいう。）が居住する借家・借間にあつては第１項第３号のそれぞれ該当する箇所にレ印を付するものとする。
3　「家賃等」欄には，権利金，敷金，食費，電気代，ガス代，水道代，共益費若しくは店舗付住宅の店舗部分その他これに類するものに係る借料又は借り受けた住宅を他に転貸している場合の転貸部分に係る家賃等を含まない額を記入する。ただし，居住に関する支払額に電気，ガス若しくは水道の料金が含まれている場合（例：光熱費込みの下宿代）又は居住に関する支払額に食費等が含まれている場合（例：賄い付下宿代）で家賃に相当する額の算出が困難なときは，光熱費，食費等を含めた額（光熱費込みの下宿代又は賄い付下宿代）を記入して差し支えない。この場合には，該当するものに✓印を付するものとする。
4　家賃額の改定等居住の実情等の一部に変更がある場合は，変更内容に関係のない事項の記入を省略することができる。